

現 千葉県農林水産業振興計画の取組状況について

1 現 千葉県農林水産業振興計画について

現状と課題

- 農業産出額全国第4位
- 海面陸揚金額全国第4位
- 生産者の減少と高齢化
- 耕作放棄地・有害鳥獣被害の増加
- 森林の荒廃・放置竹林の拡大
- 水産資源の減少と魚価の低迷

取り巻く環境の変化

- 成田空港、圏央道等のインフラの充実
- 東京オリンピック・パラリンピックの開催
- 国際化の進展
- ライフスタイルの変化に伴う消費形態の変化と産地間競争の激化
- 生産環境の悪化
- 食の安全・安心への関心の高まり
- 農山漁村の多面的機能へのニーズの高まり

計画の性格

千葉県総合計画
「次世代への飛躍 輝け！ちば元気プラン」
を実現するための具体的な取組を示す

計画の目標

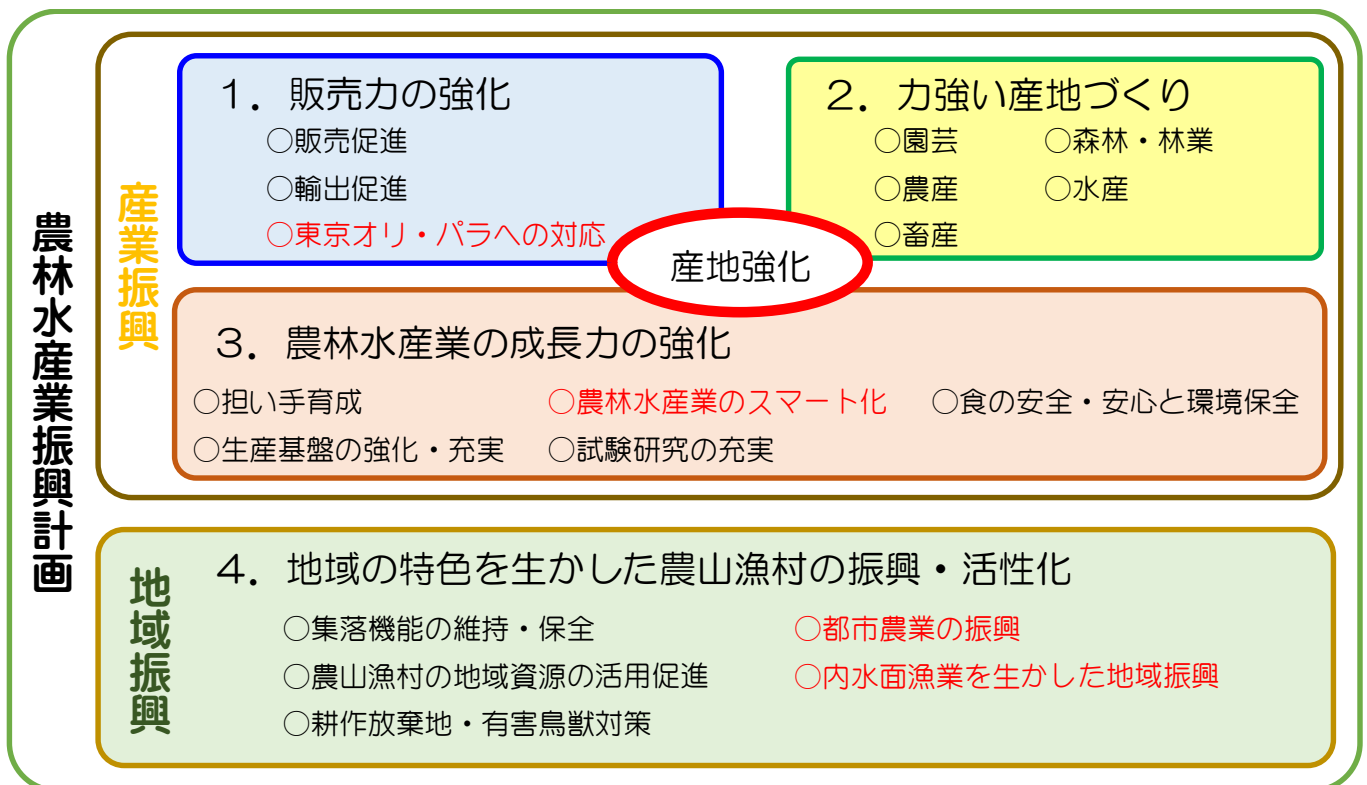
◆ 農業産出額	4,500億円 全国第2位
◆ 海面陸揚金額	560億円 全国第3位
◆ 6次産業の販売金額	830億円

農林漁業者の所得向上

計画の期間

◆ 平成30年度～平成33年度[4年間]

計画体系図



2 分野別の主な取組について

（「森林・林業」、「水産」及び「内水面漁業の振興」の3分野を除く）

【産業振興】

（1）販売力の強化

ア 販売促進

- 県内量販店での知事トップセールスの実施（6月）
- 県内や首都圏の量販店等における「千葉県フェア」の開催（延べ303店舗、1,358日）
- バイヤー向け産地視察（小松菜等）を伴う県主催商談会の開催（10月、出展58社）
- 落花生新品種「Qなっつ」のデビューイベントの開催（10月、JR千葉駅）と販売促進
- 「ちば食育ボランティア」に対する研修の実施（2回）及び食育月間（6月・11月）を中心とした食に関する情報の発信

イ 輸出促進

- シンガポールでの知事トップセールス（11月）やタイ（9月）、マレーシア（9月、1月）での「千葉フェア」の実施
- ベトナム、マレーシアのバイヤーを招へいし、商談会を開催（11月）
- 千葉ブランド農水産物・食品輸出協議会の海外見本市出展（4回）や国内商談会の開催を支援

ウ 東京オリンピック・パラリンピック大会への対応

- 本県の食の魅力発信に向けた「ちばの郷土料理」パンフレットの配布及び飲食店の料理人等向け研修会の開催（12月、参加者28人）
- 県が創設した「ちばGAP」の推進（認証数27件）やGAP推進大会の開催（10月、参加者258人）

（2）力強い産地づくり

ア 園芸

- 産地の生産体制強化に向けた産地会議の開催（6回）
- 産地の核となる集出荷貯蔵施設の整備（3か所整備予定）や園芸用ハウスの施設整備（47件予定）

- なしの改植促進に向けた**大苗育成ほ場**の設置に対する助成（1件）や改植作業請負事業者の育成（3件）
- 植木の輸出促進に向けた相談窓口の設置や国際フラワー＆プランツEXPO（商談会）への出展

イ 農産

- 県産米の食味評価向上に向けた**重点調査ほ場**の設置（コシヒカリ、3か所）
- 米の**乾燥調製施設**の整備や**大型コンバイン**の導入の支援（7件）
- 飼料用米の生産拡大に向けた戸別訪問やパンフレット配布
- 落花生種子の安定生産に向けた**機械化**の実証（1件）と種子生産者組織の育成（10組織→12組織）

ウ 畜産

- 酪農の労働負担軽減のため、**省力化機械**等の導入を支援（19戸）
- 水田等を活用した自給飼料の生産・利用を拡大するため、**共同利用機械**の導入を支援（3組織）
- 地域ぐるみによる高収益型畜産の実現に向け、畜産クラスター協議会の設立を促進するとともに、**生産拡大や低コスト化**などの取組支援（34協議会）

（3）農林水産業の成長力の強化

ア 担い手育成

- 県立農業大学校での新規就農希望者向け研修の実施（3コース参加者53人）
- **就業相談会**等の開催（5回）、**農業次世代人材投資資金**（旧青年就農給付金）の交付（332名）、就農直後からのセミナー等の実施（受講者511人）
- 「**ちばアグリトッパー経営塾**」の開講（11月～3月、受講者24人）
- 農地中間管理機構の推進体制強化（印旛・海匝・山武支部の現地推進員の増員）等による農地集積の推進（404.7ha）
- 「**千葉県農業者総合支援センター**」の設置。県、（公社）千葉県園芸協会、（一社）千葉県農業会議、JAグループ千葉が連携し農業者へ支援策を提案（4月～12月、提案件数112件）

イ 生産基盤の強化・充実

- 水田の大区画化・汎用化に向けたほ場の区画整理及び排水改良の実施（香取市森戸地区など7地区）
- 基幹的な農業水利施設の機能診断・保全計画の策定（10施設）及び計画的な対策工事の実施（11施設）

ウ 農林水産業のスマート化

- 作業省力化と生産力向上に向けた機械開発・改良の提案と現地実証（6か所）、産地への導入推進（2か所）
- 規模拡大・単収増加等を目指した、GPS等のICT（情報通信技術）を活用した機械等の現地実証や現地検討会などでの情報発信（県内の実証・導入者数35人増の累計221人）
- 収量向上に向けた園芸施設へのICT等を活用した環境モニタリング装置等の導入支援（19件）

エ 試験研究の充実

【農林総合研究センター】

- 落花生新品種「千葉P114号（愛称：Qなっつ）」の栽培技術や採種技術の開発
- 露地野菜の作付け体系・貯蔵技術等の高度化及び施設トマトの新しい炭酸ガス施用法を中心とした生産技術の確立

【畜産総合研究センター】

- 飼養管理による、乳牛の供用期間延長、新規系統豚「ポウソウL4」の能力発揮及び、採卵鶏の暑熱対策などの技術開発を実施
- 豚舎の洗浄・消毒作業のロボット化
- 家畜排せつ物の管理・処理過程の臭気低減化や低コスト浄化処理技術の開発

オ 食の安全・安心と環境保全

- 安全性確認及び出荷制限・自粛の解除に向けた県産農林水産物の放射性物質（モニタリング）検査の実施（14,797件）
- 農薬安全使用研修会の開催（7月、5地域、参加者1,010人）や病害虫の発生予察の実施による、農薬の適正使用の推進
- IPM（総合的病害虫・雑草管理）技術の取組拡大に向けた展示ほの設置や指導者向け研修会（6月、29人）の開催

【地域振興】

(4) 地域の特色を生かした農山漁村の振興・活性化

ア 集落機能の維持・保全

- 農業者等が行う**農地や水路の保全管理**などの共同管理の支援（531組織）
- 事務負担の軽減に向け、農地・農業用施設の保全等を図る**活動組織の広域化**の推進（研修会3回）

イ 農山漁村の地域資源の活用促進

- 農林水産物直売所や農林漁業体験施設等向けの研修会の開催（延べ5回）
- **直売所フェア**の開催（10～11月、参加126店舗）
- 「**千葉県6次産業化サポートセンター**」を設置・運営し、専門家派遣を実施（延べ67回、12月末時点）
- 国、県、生産者団体、商工団体、金融機関等を構成員とする「**千葉県6次産業化・農商工連携推進協議会**」の設置（6月）

ウ 耕作放棄地・有害鳥獣対策

- 農業者等が実施する**耕作放棄地の再生活動**の支援（14件、8.4ha）
- 農地中間管理機構の仕組みを活用した**担い手への農地集積・集約化**の推進（179件、995.3ha）
- 市町村等が実施する**防護柵**の設置や箱わな等**捕獲機材**の整備に対する助成（23市町村）・山林近くの**耕作放棄地の刈払い**作業に対する助成（17市町村）
- イノシシ等の**獣肉の活用普及**に向けた料理人向け講習会の開催（10月、参加者57人）

エ 都市農業の振興

- 防災協力農地制度の周知及び体験農園の開設支援のための研修会の開催（8、10、11月、参加者115人）